事例No.	2661
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	吉村　静代

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・地域運営組織 ・消防・防災

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

吉村　静代

出典

平成２９年度ふるさとづくり大賞事例集

奨 励 賞

吉村　静代　　熊本県益城町

概　　要

吉村氏は、2016年４月に発生した熊本地震に被災。益城中央小学校体育館の避難所運営において、避難者による自主運営を目指し、体育館の区画整理や清掃などへの積極的な参加を主導的に呼びかけた。その後の仮設住宅団地でも、住民同士が交流できる場づくりのため、イベントを開催するなどして、コミュニティの維持に努めている。「主役はわたしたち」の言葉をキーワードに、避難者自身が快適に過ごせるアイデアを生かした運営や避難所内でのコミュニティ形成に貢献した。



評価された点

・吉村氏の約20年にわたる地域づくりを通じた経験や人脈をいかし、自主運営できる避難所のモデルケースを築き上げた点や被災者の生活拠点が避難所から仮設団地に移った後もコミュニティ活動を維持し、さらに発展させている点が評価できる。
・熊本地震の避難生活において、行政にすべてを頼るだけではなく、被災者たちが自主的に活動することでコミュニティの形成が維持された。このことを主導した吉村氏のリーダシップは特筆すべきものがあるが、これが1992年にはじまるボランティア活動を原点としていることは、まさにふるさとづくり大賞の受賞に相応しい。

